

姶良市農地利用最適化推進委員候補者の応募状況（中間公表）

【団体推薦（法人又は団体）】

No.	被推薦者（推薦を受ける者）							推薦者						
	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	推薦地域	農業委員への推薦	組織の名称	代表者又は管理人の役職・氏名	構成員	組織の目的	構成員の資格・要件	推薦の理由
1	新村秋弘	男	68	農業	昭和50年4月：国鉄小倉工場 入社 昭和62年3月：国鉄 退社 昭和62年4月：K.S.K株式会社 入社 令和元年3月：K.S.K株式会社 退社 令和4年4月1日～：思川土地改良区 理事	耕作面積：1ha 作目：水稻 農業従事日数：180日 農業所得額：100万円	姶良	無	思川土地改良区	理事長 宮原千年	184人	農業生産の基盤の整備及び保全を図り、農業の生産性の向上、農業生産の増大、消費者の需要に即した農業生産の推進、農業構造の改善及び農業生産活動の継続的な実施に資することを目的	思川土地改良区管轄内に農地を所有する者、または耕作者から構成されている。	長年にわたって農業に従事されており、区域内の事情に非常に精通している。また、当土地改良区理事としても精力的に活動されており、耕作者・地域に貢献され適任と思われます為、推薦いたします。
2	松永政裕	男	77	農業	令和3年より漆地区協定者 (現) 漆校区コミュニティ協議会会长	耕作面積：24a 作目：水稻 農業従事日数：250日	蒲生	無	漆地区集落協定	湯元 秀誠	52人	当地域は、特定農山村法に指定されるなど、平場地域と比べて生産条件の格差が大きいことから、これを補正する取組が必要である。農業生産活動を継続し、多面的機能の促進を図る。	中山間地域の集落に於いて、農用地を維持・管理していくため、農地の範囲、面積、耕作者の参加で、取組み事項を定め、それを協定し、締結する。	漆地区的農業従事者は高齢化が進み、生産活動等の継続、農用地の保全が今後厳しいと考える。担い手の人材確保、担い手への農地の集積を図ることが急務であり、農地の円滑な運用を進めるには農地利用最適化推進委員の確保が不可欠であることから漆地区集落協定にて推薦する。